

厚生労働省認定

平成30年度「特定分野（助産）における保健師助産師看護師実習指導者講習会」募集要項

(公益社団法人 全国助産師教育協議会主催)

講習会修了者は、アドバンス助産師〔教員〕の更新要件180時間のうち**教育40時間**が認められます

1. 目的

助産師教育に携わる実習指導者または将来実習指導者となる予定の者および教員が助産師教育に関する理解を深め、助産学実習における効果的な指導のために必要な知識、技術を修得することを目的とする。

2. 受講資格

- 1) 現在所属する施設の実習指導者又は将来実習指導者となる予定にある者で助産師養成所における助産学実習を行う（予定にある）実習施設の助産師で3年以上助産師として業務に従事した者
- 2) 助産学実習を担当する教員または将来助産学担当教員となる予定にある者

3. 募集人員

東京会場：40名程度 大阪会場：40名程度

4. 受講期間 および 時間数

各会場とも6日間 41時間です。

東京会場 平成30年7月20日（金）～22日（日）、8月31日（金）～9月2日（日）

大阪会場 平成30年7月27日（金）～29日（日）、8月25日（土）～27日（月）

・開講科目等は、下記11.のとおりです。

5. 会場

- 1) 東京会場：東京都助産師会館5階 講堂
〒112-0013 東京都文京区音羽1-19-18
(TEL 03-3944-2911)
- 2) 大阪会場：大阪府助産師会館 3階研修室
〒543-0032 大阪府大阪市天王寺区細工谷1丁目1番5号
(TEL 06-6771-6537)

6. 修了証書の交付

修了者には、厚生労働省認定「特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会」の修了証書を公益社団法人全国助産師教育協議会会長名で交付します。

7. 受講料等

受講料 35,000円 (入金後の受講料の返金はできません)

受講者の旅費、食費、宿泊費等の経費は受講者の負担とする。

(宿泊施設が必要な場合、各受講者が確保すること)

振込口座番号 三菱東京UFJ銀行 浅草橋支店 普通預金 0109607

名義人：公益社団法人全国助産師教育協議会 研修研究センター

8. 申し込み手続き

- 1) 期 間：平成30年5月21日（月）～6月22日（金）必着（定員になり次第締切り）

2) 方法:

- (1) HP から研修申込を行い、必要事項を入力して下さい。
- (2) 受講料振込先が自動返信されますので、1週間以内に振込口座に入金して下さい。
- (3) 下記3) に示すすべての書類を、書留速達にて提出先に郵送して下さい。

3) 受講申請書類

- (1) 受講申込書 (様式1 HP からダウンロード可)
- (2) 受講承認書 (様式2 ")
- (3) 志望理由書 (様式3 ")
- (4) 受講料 (35,000 円) 振込証明書
- (5) 受講決定通知書送付用封筒 (長型3号封筒、92円切手貼付、宛先明記)

4) 提出先: 東京都文京区音羽 1-1 9-1 8

東京都助産師会館 2階 公益社団法人全国助産師教育協議会事務局
TEL: 03-3944-2911 (火・木 事務局在室)

9. 受講決定の連絡

受講が決定しましたら、受講申請書類類到着後1か月以内に郵送にて通知します。

10. 開講科目と時間数

科目	科目目標	内容	時間数	
教育及び助産に関する科目	教育原理	助産師教育の基礎となる教育の本質や基本原理について理解する	教育の本質と目的 教育の基本原則 専門職教育について	1.5
	教育心理	助産師教育の対象となる青年期の心理的特徴と課題について理解する	現代の青年の特徴と学習過程における心理 成人学習者の特徴	3
	教育方法	助産師教育の基礎となる基本的な教育方法を理解する	教育方法 (講義 演習 実習) とその特徴 さまざまな教育技法と助産実践における指導方法	1.5
	教育評価	助産師教育の基礎となる教育の評価方法を理解する	教育評価の意義と目的 教育評価の対象と方法、評価内容	1.5
	助産学教育課程	助産学教育課程とその概要について理解する	助産学教育課程・教育内容 教育計画、実習計画の実際	3
実習指導に関する科目	実習指導の原理	実習指導の基本と実習指導者のあり方について理解する	実習の意義 実習目的と到達目標 実習指導および指導者の役割 実習指導案の必要性	3
	助産学実習指導の実際Ⅰ (講義)	助産学実習指導方法を理解する	助産学の教育内容に基づいた実習指導計画の立案 助産学実習指導の方法	3
	助産学実習指導の実際Ⅱ (演習)	助産学実習指導の展開について理解を深め、演習を通してその実際を学ぶ	助産所・診療所・病院における助産学実習指導案の作成 実習指導案の展開 (演習) 実習指導の評価と方法	24
開講式・閉講式			0.5	
計			41	